

## 請 願 文 書 表

受付番号	第4号
受付年月日	平成29年8月24日
件名	子どもの医療費助成制度の見直しは早急な決め方でなく慎重審議を 求める請願
請願者	三田市 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 新日本婦人の会三田支部 支部長 松原慶子
要旨	<p>&lt;請願の趣旨&gt;</p> <p>マスコミによりますと、三田市の乳幼児・子どもの医療費助成事業の見直し案について、小中学生の通院について、平成30年7月から低所得者を除き、段階的に自己負担や所得制限を設けるとの報道がありました。</p> <p>三田市は「子育てするならゼッタイ三田」の下、平成27年7月より子どもの医療費中学卒業まで通院も、所得制限なしで無料にしました。この間、子育てしやすいまちとして、子育て世代の転入にもつながっています。お母さんたちは、お金の心配もなく、お医者にかかることができ、早期の受診で重症化を免れたなど多くの人によるこぼれています。</p> <p>この度の突然の制度の見直し発表は、これまで築いてきた、子育てするならゼッタイ三田の方針から大きく後退することになります。私たちは、誰もが等しく安心して子育てができることを願っており、現行の子どもの医療費助成制度の継続を求めるものです。このような市民にとって重要な問題を早急に決めるのではなく、市民の意見をよくきき、もっと時間をかけて審議をしていただくことを求めるものです。</p> <p>&lt;請願事項&gt;</p> <p>子どもの医療費助成制度の見直しについて早急に決めるのではなく、市民の意見もきき時間をかけて審議をすることを求めます。</p>
紹介議員	國永 紀子
付託委員会	福祉教育常任委員会